

平成30年度 第1回長野県総合教育会議

長野県立大学の学びの特長と 小中高生の学びに望むこと

長野県立大学 学長
金田一 真澄

平成30年6月14日



目次

- 1 長野県立大学の学びの特長
- 2 県内の小中高生の学びに望むこと

1 長野県立大学の学びの特長

- 1) 教員と学生との距離が近い学び
- 2) グローバル時代に相応しい学び
- 3) リーダーとして人間性を磨く学び
- 4) 不確実な時代を生き抜く主体的な学び

1) 教員と学生との距離が近い学び

- ア 発信力ゼミや英語の集中授業等の少人数クラス
- イ 4学期制・週2回の授業で学生の顔と名前が覚えやすい
- ウ 早期（2年次）から専門ゼミが始まるカリキュラム
- ※ 新入生全員の個別学長面談はその象徴



2) グローバル時代に相応しい学び

- ア 1年次からの英語のレベル別集中授業
ネイティブによる英語のみの授業を含め週4回
- イ 1・2年次は、年3回TOEICによる外部評価を実施
- ウ 2年次における全員参加の短期海外研修
- エ 海外からの留学生との交流



英語のみの授業

3) リーダーとして人間性を磨く学び

- ア 象山寮を活用した1年次全寮制と全人教育
2年次以降の一部学生との共同生活
- イ 寮で実施する「象山未来塾」によるキャリア教育
- ウ ソーシャル・イノベーション創出センター（CSI）が繋ぐ
様々な地域活動やボランティア活動
- ※ 地域と関わることで長野が好きになり、
就職先として長野が選択肢に挙がることも



4) 不確実な時代を生き抜く主体的な学び

ア 創造的・探究的・実践的な学び

- ・ CSIとの連携による起業に関連する学び
- ・ 発信力ゼミのアクティブラーニング型の学び

イ 持続的・内発的な学び

- ・ 専門領域の醍醐味を早期に味わう学び
- ・ ディスカッションを含む学生参加型授業



発信力ゼミ

2 県内の小中高生の学びに望むこと

- 1) 日本語力＋論理的思考力・表現力・判断力
- 2) 主体性・積極性、意欲を引き出す学び
- 3) 豊かな感受性、他者への思いやり、郷土愛
- 4) 健康
- 5) 英語力

1) 日本語力 + 論理的思考力・表現力・判断力

ア センター試験から共通テストへの移行による
数学入試などへの文章題の増加

イ 推薦選抜入試の増加による小論文・面接の増加

ウ 大学での学問探求や教養の基礎力として

⇒プレゼンやレトリックの早期導入

⇒ディスカッションを全授業に導入

⇒読書習慣を身につける

《大学生の正解率が64.5%の問題》

◆以下の文で、正しいものに○間違っているものに×を。

公園で男の子たちと女の子たちが遊んでいます。

帽子をかぶっていない子供は、みんな女の子です。

長靴を履いている男の子は一人もいません。

- 1) 男の子はみんな帽子をかぶっている。
- 2) 帽子をかぶっている女の子はいない。
- 3) 帽子をかぶっていて、長靴を履いている子供は一人もいない。

(新井紀子『AI vs.教科書が読めない子どもたち』2018より一部改変)

2) 主体性・積極性、意欲を引き出す学び

ア 不確実な時代を生き抜く必須の資質

イ 人生100年時代における持続的な学びの必要性

⇒ディスカッションを全授業に導入

⇒学ぶことの楽しさを感じさせる教育

⇒自己肯定感を持たせるほめる授業

⇒持続的学びには読書が最適



ディスカッション形式の授業

3) 豊かな感受性、他者への思いやり、郷土愛

ア リーダーとして必要な資質

イ AIに代替できない人間だけの資質

⇒愛情をもった親身の教育

⇒コミュニケーション能力の育成

⇒地域でのボランティアの導入



善光寺花回廊 学生ボランティア

4) 健康

ア 不確実な時代を生き抜くために

イ 人生100年時代を幸せに生きるために

⇒サークル活動への取り組み、特にスポーツの重視

⇒栄養のバランスのとれた三度の食事

⇒質の良い睡眠



象山寮での夕食づくり

5) 英語力

- ・グローバルな時代の地域社会で活躍するために

⇒英語の基本文法と語彙の習得

⇒長野における世界レベルの強みと特色の認識



Global Language Table